

【資料1】

令和7年度住之江区運営方針 振返りについて

令和8年度住之江区区政会議 第1回 全体会

目次

・令和7年度 住之江区運営方針

└ 区の目標、区の使命、区運営の基本的な考え方	P2
└ 【経営課題1】 課題設定の根拠	P3～4
└┐ 【めざす成果及び戦略1-1】課題認識、主な戦略、評価指標	P5
└┐┐ 【具体的取組1-1-1・1-1-2】取組実績、令和7年度の課題、令和8年度の方角性	P6～7
└┐ 【めざす成果及び戦略1-2】課題認識、主な戦略、評価指標	P8
└┐┐ 【具体的取組1-2-1・1-2-2】取組実績、令和7年度の課題、令和8年度の方角性	P9～10
└ 【経営課題2】 課題設定の根拠	P11～12
└┐ 【めざす成果及び戦略2-1】課題認識、主な戦略、評価指標	P13
└┐┐ 【具体的取組2-1-1・2-1-2】取組実績、令和7年度の課題、令和8年度の方角性	P14～15
└┐ 【めざす成果及び戦略2-2】課題認識、主な戦略、評価指標	P16
└┐┐ 【具体的取組2-2-1・2-2-2】取組実績、令和7年度の課題、令和8年度の方角性	P17～18
└ 【経営課題3】 課題設定の根拠	P19～20
└┐ 【めざす成果及び戦略3-1】課題認識、主な戦略、評価指標	P21
└┐┐ 【具体的取組3-1-1・3-1-2】取組実績、令和7年度の課題、令和8年度の方角性	P22～23
└┐ 【めざす成果及び戦略3-2】課題認識、主な戦略、評価指標	P24
└┐┐ 【具体的取組3-2-1・3-2-2】取組実績、令和7年度の課題、令和8年度の方角性	P25～26
・付属資料	P27～32

令和7年度住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる
「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- 区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～
区民の視点に立った区役所サービスの提供
まちづくりの支援拠点としての機能の強化
- 官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～
官民連携の強化による地域課題の解決
区政情報・区の魅力の効果的な発信

令和7年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

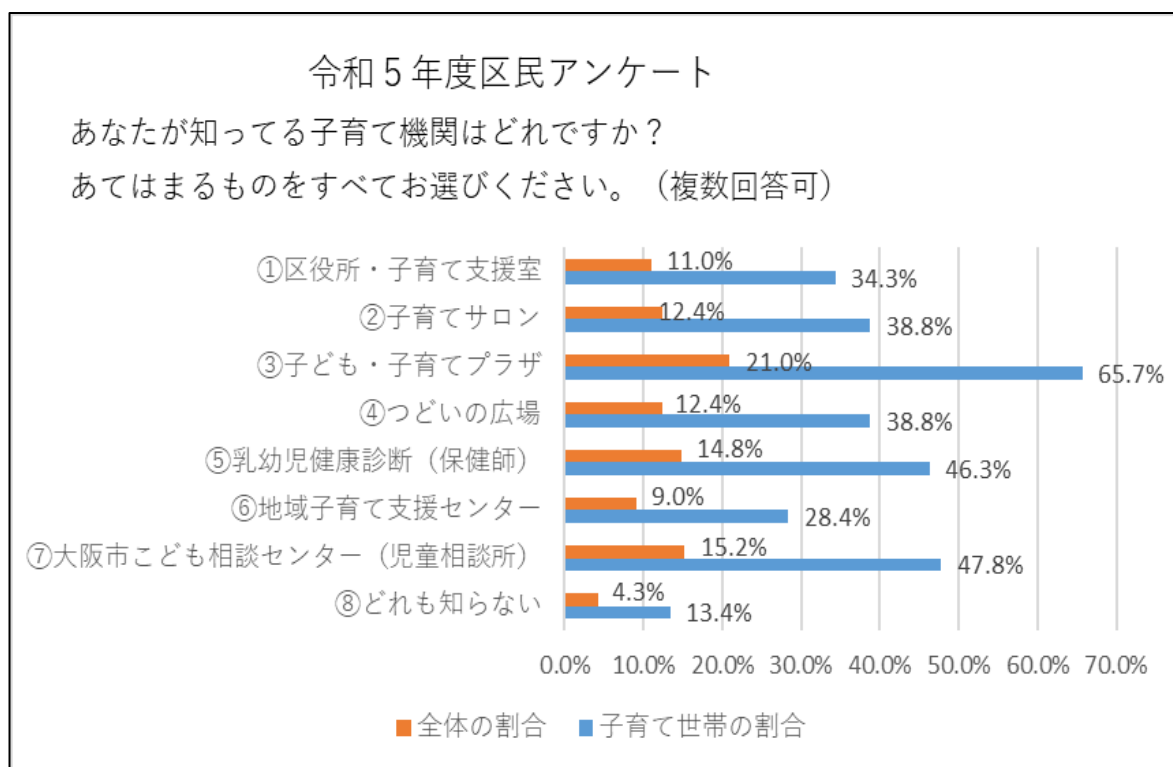
- 子どもたちの未来のために、「安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち」
「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」
「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- 安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

【1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち】

・全市において、要保護児童対策地域協議会及びこどもサポートネットの取組を推進しており、関係機関との連携・見守りなどにより、重大虐待ゼロに向けた取り組みを継続中であるが、当区においてはネグレクト家庭が多くを占め、支援を拒否する家庭もある。

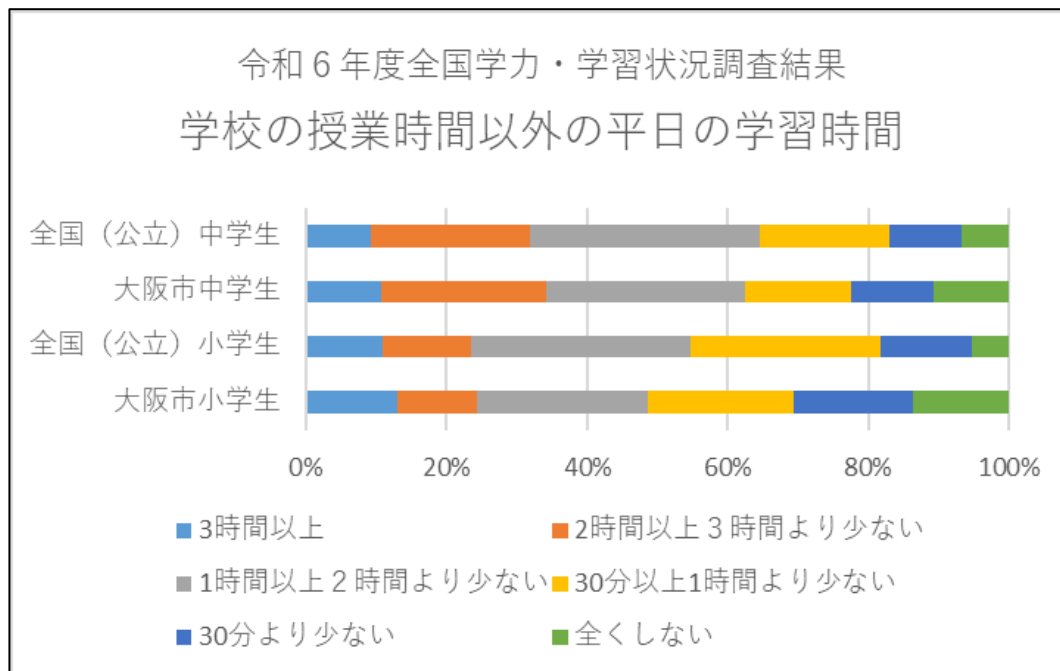
・就学前の子どもを対象とした乳幼児健診受診率は、様々な施策を講じることにより90%を超え、市平均を上回っている。特に、乳幼児等の健全な発育・発達や養育環境のリスクが高まらないよう、地域担当の保健師からの働きかけや子育て支援室等との連携により、切れ目のない見守りを行っている。

・令和5年度の区民アンケートにおいて、子育て世帯が知っている相談機関としては、子ども・子育てプラザの認知度が一番高く、大阪市こども相談センター（児童相談所）、乳幼児健康相談（保健師）、子育てサロン、つどいの広場の割合が高くなっている。

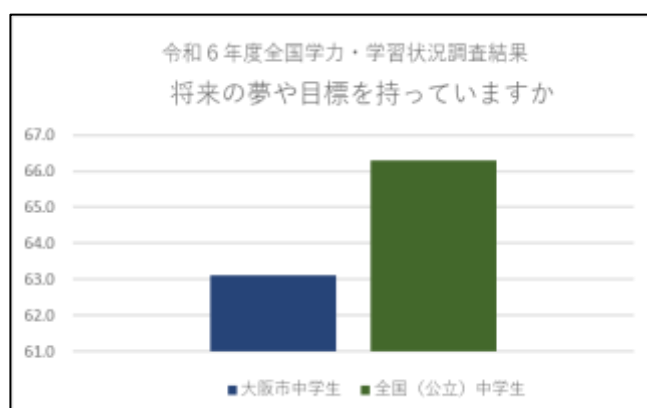
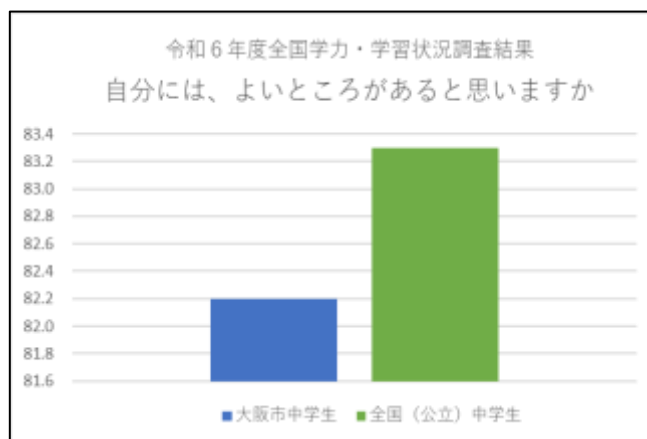


【1-2 子どもがいきいきと学び、成長していくまち】

・全国学力・学習状況調査における本市小学生ならびに中学生の平均正答率はすべての科目において、国平均を下回っており、区においても同様の傾向がある。また、本市の小学生及び中学生は国に比べて授業以外の学習時間が少ない傾向があり、区においても同様の傾向がある。近年その傾向は変わらない。



・全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」という質問における区内小学生ならびに中学生の肯定的な回答についても、いずれも本市の小学生・中学生は国平均を下回っており、区においても同様の傾向があり、近年その傾向は変わらない。





●めざす成果及び戦略

5決算額	8,396 千円	6決算額	904 千円	7予算額	3,211 千円
------	----------	------	--------	------	----------

1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち

【めざす状態】

未来の担い手であるすべての子どもが、家庭や地域で愛されながら、個性豊かに、たくましく育っていくよう、区民がより安心して子育てができ、子どもたちが夢と希望を持って学ぶことのできる環境の実現をめざす。

課題認識

- ✓本人や家庭への支援が必要な児童・生徒に対し、こどもサポートネット事業の充実など、社会全体で支える仕組みを強化するとともに、周囲の目が行き届きにくい就学前の子育て世帯に対しては、切れ目のない相談やサポートが可能となるよう、見守り環境の整備を進める必要がある。
- ✓子育てに関する様々な支援や相談窓口、交流の場の機能充実を図るとともに、これらに関する情報が、直接子育て世帯に分かりやすく効果的に伝わるよう、関係機関との連携やすみのえ情報局やSNS等の活用など、情報にアクセスしやすい方法を検討する必要がある。

主な戦略

- ✓妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の各ステージに応じて切れ目なく子育てをサポートするとともに、課題を抱える家庭や子どもへの支援などを行う。
- ✓子育ての悩みをみんなで相談しあったり、子育てに関する有益な情報が確実に簡単に入手できる環境の整備を進める。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、区役所がSNS、広報紙等で子育てに関する情報発信を行う回数

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
96回	114回	119回	年間100回以上

- ✓年間を通じて重大虐待事案が発生しない状態の継続

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
0件	0件	0件	0件

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓子育てケアプランファイル作成・交付や、2歳児の保護者アンケートを実施し、相談を希望する家庭や保護者アンケート未回答の家庭を訪問し、養育状況や困りごとを把握し支援メニューを提案しているものの、保護者等の同意が得られない場合がある。支援を要する児童等が取りこぼされることのないよう、学校や通所事業所など関係機関と連携し、保護者等へ支援メニューの周知を行うとともに、同意を得られない保護者に対しても柔軟に対応できるよう官民連携を促進する。

● 具体的取組

1-1-1 支援が必要な児童、生徒への取組

取組実績

- ✓学校・保育所・幼稚園等と連携し、児童や保護者の状況や悩みを傾聴し、児童や保護者のニーズに合わせて必要なサポートを関係機関と連携し継続して行っている。
- ✓サポートが必要なケース(こどもサポートネット対象者を含む)への対応数
548ケース
- ✓こどもサポートネットにおいて区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合
100%

成果指標	目標	中間実績	最終実績
こどもサポートネットにおいて区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合	75%		

令和7年度の課題

- ✓保護者・児童への支援について、保護者にサポートやサービスの提案を行うが、同意を得られず、利用につながらないケースがある。引き続き民間資源やサービス等つなぎ先の充実と多様なサポートが必要である。

令和8年度の方角性

- ✓学校等関係機関との連携により、支援を要する児童等がとりこぼされることのないよう発見に努め、児童や保護者のニーズを把握し、NPO法人等の関係機関との連携を図る。

● 具体的取組

1-1-2 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

取組実績

- ✓妊産婦、乳幼児健診(3か月・1歳6か月・3歳)、支援対象者へのサポートプランの作成及び交付、4歳児を対象とした訪問など、妊娠期から就学まで切れ目なくこどもの見守りを行うとともに、地域担当の保健師・子育て支援室等による相談対応等を行い必要な支援を実施
- ✓2歳児を養育する保護者へ6・9・12・3月の4回に分けてハガキを発送600通送付、44件相談対応
- ✓妊娠期から就学前までの最低限必要な手続きや相談先などを掲載した「手続きケアプラン」を母子健康手帳交付時に配布 710件
- ✓子育て世帯に子育ての情報が届くよう二次元コードを掲載したチラシを、助産師、保健師等の新生児全戸訪問で配付 623件配付
- ✓子育て情報紙「わいわい」(月1回)を発行するとともに子育てサロンの情報など区ホームページやSNSを通じて情報を発信
- ✓区広報紙「さざんか」6月号に、妊娠期から子育て期までの子育てを切れ目なくサポートできるよう子育てに関する情報や相談先を掲載。同9月号に保育施設等の利用申込みとオンラインによる受付予約に関する情報とともに、スマートフォン等から簡単に適宜情報を入手できる、子育て情報満載の「すみのえ 子育て博覧会」などの二次元コードを掲載。また、同11月号には児童虐待防止に関する相談先を含めた啓発記事を掲載した。

成果指標	目標	中間実績	最終実績
子育て世帯保護者アンケートで「子育ての相談先を知っている」と回答する割合	80%		 83%

令和7年度の課題

- ✓子育てに関する情報が入手しやすくなる、より効果的な手法を検討する必要がある。また、子育て情報を発信するとともに、誰もが相談できるよう取り組みを進める必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓子育て情報をホームページやSNSを通じて、引き続き継続的に発信するとともに、子育てに関する困りごとや悩みについて、気軽に相談できるよう子育て応援イベントなどの多様な機会を捉え、子育て世帯に情報が届くよう効果的に情報を発信する。



●めざす成果及び戦略

5決算額	5,810	千円	6決算額	4,199	千円	7予算額	5,992	千円
------	-------	----	------	-------	----	------	-------	----

1-2 子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち

【めざす状態】

社会が多様化する中で、子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができる状態。

課題認識

✓放課後等を活用した学習の場の提供や学習意欲の向上、学習習慣を身に付けるための支援など、児童・生徒の学力向上に向けた取組を充実する必要がある。

✓子どもたちが自分で未来を切り拓いていけるよう、将来に向かって自ら挑戦する精神や課題を解決する力を身につけたり、学習目的を見つけたりすることができる機会を提供していく必要がある。

主な戦略

✓地域や民間との連携のもと、誰もが安心して勉強ができる環境の充実を図り、学習を楽しむ体験をすることで、学習意欲が向上するよう促す。

✓知識だけでなく、学ぶ意欲や、課題を見つけ解決していく力を養い、将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちとやり抜く力を育む。

評価指標と達成状況

✓令和11年度末までに、全国学力・学習状況調査等のアンケート結果で区内中学生への「将来の夢や目標」に関する質問に対する肯定的な回答の割合

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
64.50%	60.20%	60.20%	70%以上

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

✓児童、生徒の学力の向上に向けては、学習習慣の定着ならびに学習意欲の向上が必須であるが、とりわけ支援が必要な児童、生徒については学習支援につながるまでに時間を要することが多い。支援の必要な児童、生徒に対して、SSWや子育て支援室と連携し、学校教員等に支援内容の周知を図ることで、学習習慣のきっかけづくりを行う必要がある。さらに未来に向かって夢や目標のために挑戦する力を育むためのプログラミング教室を開催するとともに、情報リテラシー教育の推進にも取り組んだ。また、様々な体験を通して自己肯定感や好奇心、挑戦する気持ちを育むため、「運動遊びプログラム」を今年度から新たに幼稚園に導入し、今後は保育所等へも対象を広げ取り組んでいく。

● 具体的取組

1-2-1 児童、生徒の学力向上に向けた取組

取組実績

<基礎学力アップ事業>

✓小学校:安立塾91回、学びひろば住吉川86回、住之江塾81回、ひら子塾0回(申込無)
新北島塾47回、みなみ塾75回 各回1~15名程度参加

✓中学校:住一塾92回、加賀屋塾99回、南港塾90回、真住塾92回
各回5~25名程度参加

✓小学校・中学校合計 753回実施

<放課後学習チャレンジ教室事業>

✓小学校7校にて学習支援を実施

成果指標	目標	中間実績	最終実績
対象児童・生徒に対するアンケート調査において、「この事業に参加してよかった」という問いに対し、肯定的な回答の割合	70%以上		86.84%

令和7年度の課題

✓基礎学力アップ事業について、参加者数の増加に向けさらなる周知の必要がある。

令和8年度の方針

✓参加者数の増加につながるような効果的な周知方法等を検討し、さらなる学校及び事業者との連携強化に努める。

● 具体的取組

1-2-2 チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

取組実績

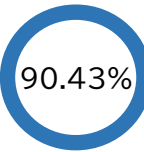
✓すみのえ未来塾

募集型 舞昆ホール(12/13・6名)

出張型 敷津浦小(11/28・50名)南港光小(11/26・56名) 加賀屋中(11/6・130名)
真住中(学級閉鎖により直前に中止)

✓すみのえ運動遊びプログラム(粉浜幼稚園)

事前検証2回 事業者による実践指導5回 プレイリーダーによる実践指導1回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
体験学習に参加する児童・生徒対象のアンケートにおいて、プログラミングへの関心や体験学習の理解度について肯定的な回答の割合	70%以上		 90.43%

令和7年度の課題

✓プログラミング学習を前面に打ち出し、一定の参加実績はあったが、より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。

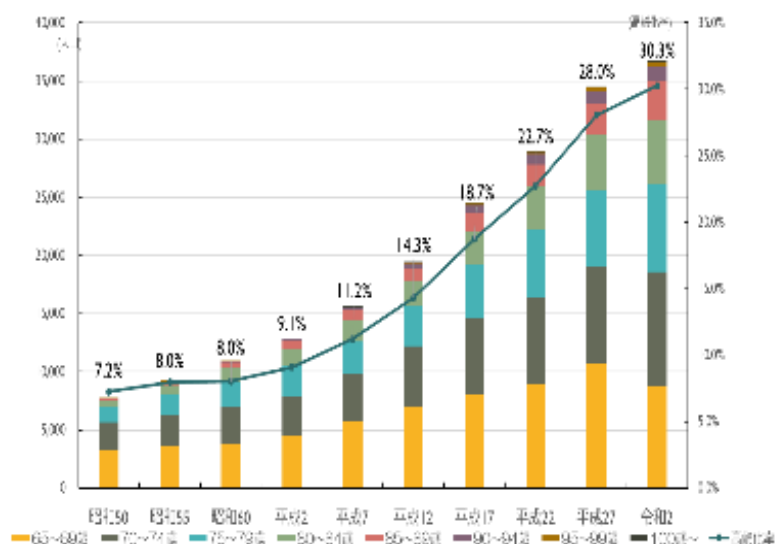
令和8年度の方向性

✓学校の授業の一環としても実施できるよう、引き続き学校や事業者など関係先との連携を図る。

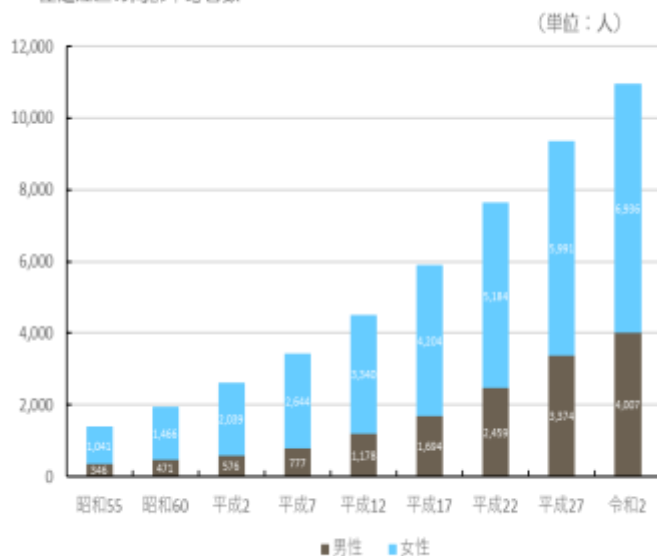
【2-1 支え合い安心して暮らせるまち】

・高齢者が年々増加し、高齢者の半数以上が後期高齢者となっており、一人暮らし高齢者、認知症高齢者も増加している。

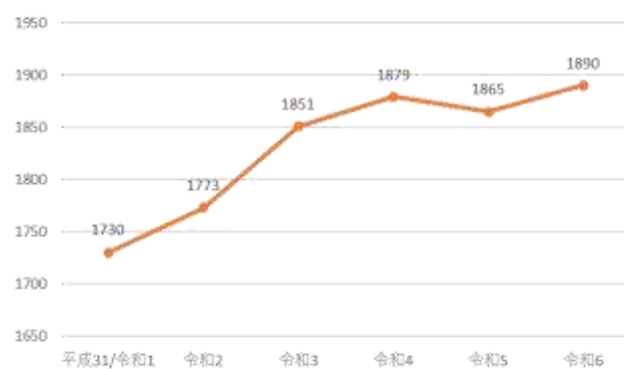
高齢者人口と高齢化率の推移



住之江区の高齢単身者数



住之江区の認知症高齢者数 (日常生活自律度Ⅱ以上) (単位: 人)



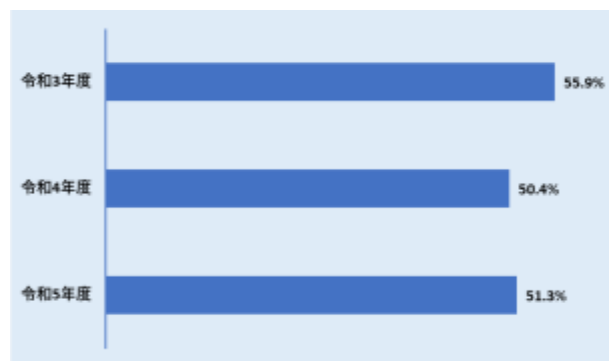
大阪市ホームページ (福祉事業統計) より

【2-2 活力と魅力のあふれるまち】

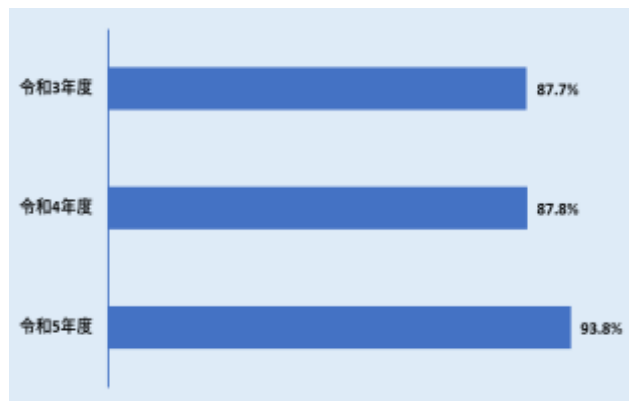
- ・地域福祉活動に関心があっても、参加したことがある人は少ない。



- ・区政に関する区民アンケートで「地域活動協議会を知っている」と回答した割合



- ・地域活動協議会の構成団体アンケートで「地域活動協議会に対して、まちづくりセンター等は、地域の実情やニーズに即した支援を実施している」と回答した割合





●めざす成果及び戦略

5決算額	12,490 千円	6決算額	12,550 千円	7予算額	12,619 千円
------	-----------	------	-----------	------	-----------

2-1 支え合い安心して暮らせるまち

【めざす状態】

地域の人々や様々な機関が、それぞれの立場でできることを行い、できないところはお互いに連携し取り組んでいくことで、すべての人々が温かく見守られたり、必要な支援を受けながら、住み慣れた地域に愛着を持ち、自分らしい暮らしを安心して送ることができるまちをめざす。

課題認識

- ✓福祉関連施策をより着実に推進するとともに、多様化・高度化する社会環境に柔軟に対応できるよう、関係機関との相互連携を一層強化するなど、支援を必要とする人に寄り添い支える地域づくりを一層進める必要がある。
- ✓地域福祉ビジョンや広報紙などによる啓発や、地域での見守りの担い手である「見守りあったかネットサポーター」の養成、区社会福祉協議会との連携などによる地域福祉の一層の充実を図る必要がある。

主な戦略

- ✓地域ですこやかな生活が送れるよう、福祉・健康・医療・介護・暮らしの支援などの制度のもと、福祉サービスを総合的に提供するとともに、包括的な支援の仕組みを構築し、地域において誰もが支え合い、いきいきと豊かに尊厳をもって暮らすことができるよう取り組む。
- ✓誰もが自分らしく安心して生活できる環境を実現するためには、地域内で住民同士が互いに支え合い、それぞれが自分らしく活動できるコミュニティづくりが重要である。身近に住む住民の皆さんが、お互いを気にかけて、見守ることで相手の変化に気づくことができる。住之江区では、各地域が高齢者、障がい者、子どもなどを見守る活動を行っており、変化に気づいた人が自ら助けることができない場合や解決が難しい場合であっても、地域で見守り、適切な支援につなぐことで支え合うことができる。地域で孤立せず、自分らしい生活を送ることができるような、気にかけて、つながり、支え合う地域づくりを推進していく。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、地域活動協議会アンケートで、地域の中で見守りやつながりづくりに資する活動ができていると回答する割合

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
		92.3%	60%以上

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓職員の意識向上のための研修の実施や、地域福祉の充実にむけて各地域での活動状況を共有する場を設けるなど順調に取り組んでおり、引き続き、新たな見守りの担い手が地域福祉活動に参加しやすく続けやすいような環境づくりを進めていく。

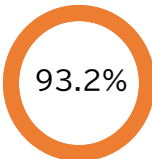
● 具体的取組

2-1-1 安心を提供する福祉施策の推進

取組実績

✓区役所で相談業務を実施している部署を対象とした職員会議の中で、「気づき」「感度の向上」を目的に、学識経験者を講師とした研修会を実施 12月10日

✓区役所の全ての職員が区民の困りごとに対してよりの確な支援につなげられるよう、全職員に研修会の動画視聴による「気づき」「感度の向上」の研修を実施 2月24日～3月11日

成果指標	目標	中間実績	最終実績
区役所の全職員に対して実施するアンケートで「区民の相談に対して、適切な支援につなげられるように、課題に「気づく」ことを意識して行動できる。」との質問に対する肯定的な回答の割合	80%		 93.2%

令和7年度の課題

✓区民が安心して相談できる相談支援体制の充実を図る必要がある。

令和8年度の方角性

✓安定的に継続した研修等を実施し、区民の困りごとに対して職員の「気づき」や「感度の向上」を図る。

● 具体的取組

2-1-2 地域福祉の充実

取組実績

- ✓ コーディネーター相談件数 1,653件(延べ)
- ✓ 見守りあったかネットサポーター養成講座の開催
(地域向け) 15回 308名参加
(学校向け) 7回 550名参加
(企業向け) 3回 50名参加
- ✓ 見守りあったかネットコーディネーター・リーダー研修の開催 2回 69名参加

成果指標	目標	中間実績	最終実績
地域向け『見守りあったかネットサポーター養成講座』への年間参加者数	300人以上		308人

令和7年度の課題

- ✓ 担い手が高齢化・固定化しているため、見守りあったかネットサポーター養成講座に新規の参加者を増やし、新たな担い手を養成する必要がある。

令和8年度の方角性

- ✓ 地域のつながりを活用するなどして、どのようなサポートを必要としているかなどのニーズを明確化し、間口を広げることで、区民の参加促進へと繋げる。



めざす成果及び戦略

5決算額	63,570 千円	6決算額	62,645 千円	7予算額	62,563 千円
------	-----------	------	-----------	------	-----------

2-2 活力と魅力のあふれるまち

【めざす状態】

地域の人々や様々な機関が、それぞれの立場でできることを行い、できないところはお互いに連携し取り組んでいくことで、すべての人々が温かく見守られたり、必要な支援を受けながら、住み慣れた地域に愛着を持ち、自分らしい暮らしを安心して送ることができるまちをめざす。

課題認識

✓企業・NPO・学校・地域交流会を開催するなどの支援により地域活動協議会の自律度は着実に改善しているものの、引き続き、より幅広い人材、団体など、多様な主体による地域活動及び主体間の相互連携の一層の活性化を図るとともに、地域の自主財源の強化のためのサポートや、新たな地域活力を創出するためのICT活用など、地域活動協議会の自律的な運営をより一層促進する必要がある。

✓既存の地域イベントだけでなく、更なる地域の魅力の再発見や新たな魅力の創出につながるよう、これまでの紙媒体での広報に加え、SNSなど多様な広報媒体を活用し、地域の魅力の共有と発信が一層進むよう取り組む必要がある。

主な戦略

✓住之江区の各地域では、日ごろから、夏祭りや子育てサロン、ふれあい喫茶、子どもの見守り、近所の清掃など様々な活動が行われている。これらの活動は、日々の暮らしに、にぎわいと安心をもたらすだけでなく、住之江区全体の活力の源ともなっている。こうした地域活動が将来にわたって自律的に行えるよう、地域の特性などそれぞれの地域の実情にあった必要な支援を行うとともに、多様な主体による連携を促し、より発展する環境づくりを進める。

✓地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができるまちづくりをめざす。身近な地域にある歴史や文化の魅力を発信し、地域の皆さんが共有することで、地域への愛着はさらに深まり、次の世代へと引き継がれていく。ICTの活用を図りながら、このような機運を高めるための環境や仕組みづくりを進めていく。

評価指標と達成状況

✓令和11年度末までに、地域活動協議会アンケートで、地域活動協議会が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
94.60%	91.20%	85.7%	90%以上

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

✓まちづくりセンターと連携し、「企業・NPO・学校・地域交流会」等を開催し、地域課題の解決に向けた支援を行った。一部地域で地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等を活用した地域活動が活発となったが、さらに活発に連携した活動が行われるよう、各地域活動協議会の自律的な運営に向け支援していく必要がある。

✓まちづくりセンターと連携して、広報実務者担当交流会を開催し、地域活動の魅力を発信するため、「まちセンNEWS」を発行した。引き続き区政会議と地域活動協議会において情報共有を行い、地域課題の解決に向けた支援を行っていく。

● 具体的取組

2-2-1 多様な主体と連携した地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

取組実績

- ✓ 地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動の実施 38件
(登下校時の見守り活動、地域運動会、もちつき大会等のイベントでのボランティア活動)
- ✓ 企業・NPO・学校・地域交流会の開催 2回
(第1回:9月19日 第2回:2月13日)
- ✓ まちセンカフェの開催 3回
(第1回:5月28日 第2回:8月27日 第3回:12月10日)
- ✓ 地域の自律的な運営ができるよう2地域で「会計交流会」を開催
(加賀屋東地域:10月8日 住吉川地域:11月28日)
- ✓ LINE公式アカウントを活用した情報発信や電子回覧板、開設資金の確保等についての先進事例を共有及び普及していくため、広報実務者担当者講習＆交流会を開催 8月8日
- ✓ まちづくりセンターにより、地域の活動紹介を行う「すみまちNEWS」の発刊 4回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動の実施	12件以上		38件
地域活動協議会アンケートで、まちづくりセンター等は、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると回答した割合	90%		85.7%

令和7年度の課題

- ✓ 「企業・NPO・学校・地域交流会」等の開催により、一部地域では地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等を活用した地域活動が活発となったが、さらに活発に連携した活動が行われるよう支援が必要である。
- ✓ まちづくりセンターと連携し、地域の実情やニーズに即した支援を実施してきたが、今後さらにきめ細かな支援が必要である。

令和8年度の方針

- ✓ まちづくりセンターと連携しながら、地域活動協議会の情報発信等に係るスキル向上及び企業・NPO・学校・地域交流会等を継続的に実施し、地域課題の解決に向けた協働取組が更に活発になるように支援していく。
- ✓ まちづくりセンターと連携し、地域の実情やニーズに即した、きめ細かな支援を行い、自律的な運営ができるよう、さらなる支援を行っていく。

● 具体的取組

2-2-2 地域の魅力の共有と発信

取組実績

- ✓ポータルサイト登録団体数 59団体
- ✓ポータルサイトを活用して情報発信を行った件数 216件
- ✓スマホちょこっと相談会 14地域

成果指標	目標	中間実績	最終実績
ポータルサイトを活用して情報発信を行った件数	150件以上		216件

令和7年度の課題

- ✓ポータルサイト(すみのえ情報局)の利用状況の検証・今後の検討を行った結果、令和8年3月末で運用を終了することとしたが、引き続き地域の情報発信の支援を行う必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓地域の情報を共有・発信することで、更なる地域の魅力の再発見や新たな魅力の創出につながるよう、これまでの紙媒体での広報に加え、SNSや情報サイトなど多様な広報媒体を活用し、引き続き地域の情報発信の支援を行う。

【3-1 災害に強いまち】

・住之江区では、大和川の氾濫、高潮及び内水氾濫による浸水、東南海・南海地震及び南海トラフ巨大地震による津波浸水が想定されている。

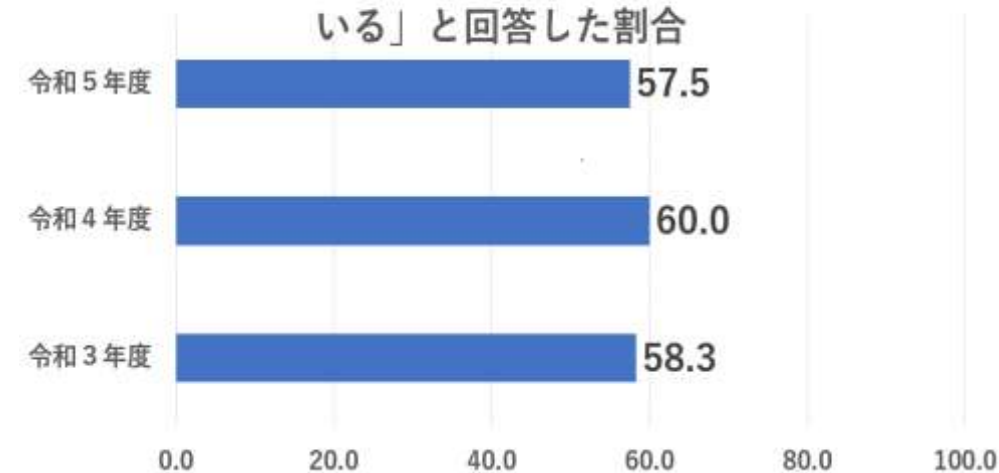
・南海トラフ巨大地震発生後、最短で1時間50分(110分)で1mを超える津波が大阪市に到達すると想定されており、波の高さは5.1mとなっている。

・津波による死者・負傷者・重傷者想定数(早期避難率が低い場合)13,376名 (H26年1月大阪府南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会より)

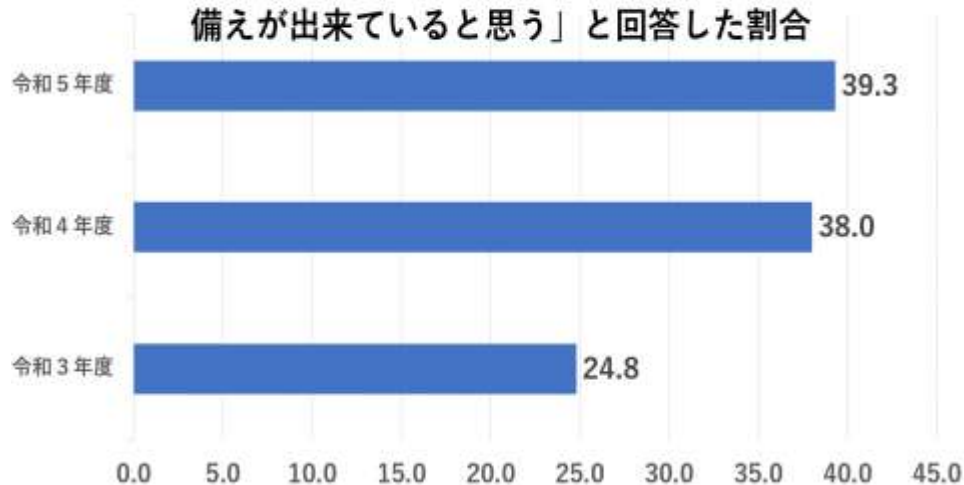
・令和5年度の区民アンケートで、自宅の浸水想定を知っていると回答した割合が57.5%とほぼ横ばいとなっている。

・お住まいの地区で共助による備えが出来ていると思うと回答した割合が39.3%となっており、緩やかではあるが増加傾向となっている。

区民アンケートで「自宅の浸水想定を知っている」と回答した割合



区民アンケートで「お住まいの地区では、共助による備えが出来ていると思う」と回答した割合



【3-2 防犯意識の強いまち】

・区内の街頭犯罪発生件数は、令和3年までは減少傾向にあったが、令和4年は494件、令和5年は567件と増加している。



経営課題3 安全・安心に暮らすために



●めざす成果及び戦略

5決算額	10,498 千円	6決算額	10,704 千円	7予算額	14,524 千円
------	-----------	------	-----------	------	-----------

3-1 災害に強いまち

【めざす状態】

大規模地震や津波、水害等の自然災害に対し、自助・近助・共助・公助による備えのできた防災力の高いまちをめざす。

課題認識

- ✓阪神・淡路大震災において自力脱出困難者の大多数は家族・近隣住民に救出された経験を踏まえ、「自助」「近助」に対する一層の意識の向上が必要である。
- ✓大阪防災アプリや避難カードなど、効果的な手法を積極的に活用しながら、自助・近助・共助による防災力の向上と多数の人材育成により一層取り組む必要がある。
- ✓避難場所の拡充と避難所での物資の充実、避難所の所在を分かりやすく示す表示板整備など、減災のための環境を一層整備する必要がある。

主な戦略

- ✓災害への知識を深め事前に備えることで、一人ひとりが災害に対応できる、自助・近助・共助による防災力を高める。
- ✓災害時に身の安全が確保できる避難場所の拡充を図るとともに、一人ひとりが避難行動を円滑に行えるよう、環境を整える。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、防災セミナーへの参加者数の合計

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
—	—	111人	延べ500人以上 (年間100人以上)

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓小中学生や地域防災リーダー、地域、企業等を対象に研修や訓練、出前講座を実施し、幅広い防災人材の育成を行った。また、地域団体においても消防署・区と連携し、防災人材の育成を実施しており、裾野は広がっている。
- ✓防災パートナーを新たに7件登録したことや、津波避難ビル協定を3施設と締結するなど、減災のための環境整備を図った。

●具体的取組

3-1-1 自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

取組実績

- ✓地域防災訓練 12地域(12回)
- ✓人材育成 7中学校、9小学校
- ✓防災出前講座 7回、防災リーダー研修 5回
- ✓広報紙 特集2回、区防災マップを全戸配布

成果指標	目標	中間実績	最終実績
防災訓練の実施回数	14回		12回

令和7年度の課題

- ✓日頃から災害に対する「心がまえ」や「備え」等、防災意識の向上に向け、有効な手段を検討する必要がある。

令和8年度の方針

- ✓引き続き、出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行う。

● 具体的取組

3-1-2 減災のための環境整備

取組実績

- ✓ 防災パートナー新規登録件数 7件
- ✓ 津波避難ビル新規協定締結件数 3件
- ✓ 災害時誘導表示板の設置 3か所
- ✓ 災害時表示板設置 5か所

成果指標	目標	中間実績	最終実績
防災パートナーの新規登録件数	2件以上		7件

令和7年度の課題

- ✓ 災害に備え、津波避難ビルや防災パートナーを拡充し、避難場所等を充実させる必要がある。

令和8年度の方方向性

- ✓ 企業・NPO・学校・地域交流会の場を活用するなど、津波避難ビルや防災パートナーに協力いただける企業等の拡大に努める。

経営課題3 安全・安心に暮らすために



●めざす成果及び戦略

5決算額	1,128	千円	6決算額	2,291	千円	7予算額	4,989	千円
------	-------	----	------	-------	----	------	-------	----

3-2 防犯意識の高いまち

【めざす状態】

ひったくりや路上強盗、特殊詐欺等、犯罪のない安心して暮らせるまちをめざす。

課題認識

✓各種キャンペーンや出前講座などを通じ、増加傾向にある特殊詐欺などの巧妙化する犯罪手口に関する情報の普及や注意喚起など、防犯意識向上に向けた意識啓発を、より一層進める必要がある。

✓青色防犯パトロールカーの巡回やキャンペーン活動、防犯カメラの適切な維持など、街頭犯罪防止のための環境整備に引き続き取り組む必要がある。

主な戦略

✓還付金詐欺、オレオレ詐欺などの特殊詐欺等の犯罪やひったくり、路上強盗などの街頭犯罪に対する正しい防犯知識の普及と防犯意識の醸成により、犯罪を寄せ付けないまちづくりを進める。

✓警察などの関連部署や地域との連携のもと、みんなの目が行き届いた、犯罪が実行されにくい安全・安心なまちをめざす。

評価指標と達成状況

✓令和11年度末までに、特殊詐欺の被害防止並びに街頭犯罪の抑止のキャンペーンにより啓発した人数の合計

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
—	—	2,500人	延べ12,000人以上(年間2,400人以上)

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

✓特殊詐欺被害防止や街頭犯罪抑止のため、引き続き警察と連携し、広報紙、動画、SNS等様々な媒体により、啓発を行っていく。

● 具体的取組

3-2-1 防犯意識の向上に向けた啓発

取組実績

- ✓ 特殊詐欺被害防止録音機の貸与 105台
- ✓ 特殊詐欺被害防止キャンペーン実施 13回
- ✓ 防犯出前講座実施 55回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
街頭キャンペーンの実施回数の合計	12回		13回

令和7年度の課題

- ✓ 防犯意識の向上に向け、様々な場を活用し、繰り返し啓発を行う必要がある。

令和8年度の方針

- ✓ 防犯意識の向上に向けた啓発について、様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

●具体的取組

3-2-2 街頭犯罪抑止のための環境整備

取組実績

- ✓青色防犯パトロールの実施 午前午後合計 4コース
- ✓犯罪発生箇所が反映された防犯マップを基にした即応効果的な巡回パトロールの実施
- ✓ひったくり防止カバー取付キャンペーン実施 12回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施回数の合計	12回		12回

令和7年度の課題

- ✓街頭犯罪抑止に向け、様々な場を活用し、繰り返し啓発を行う必要がある。

令和8年度の方角性

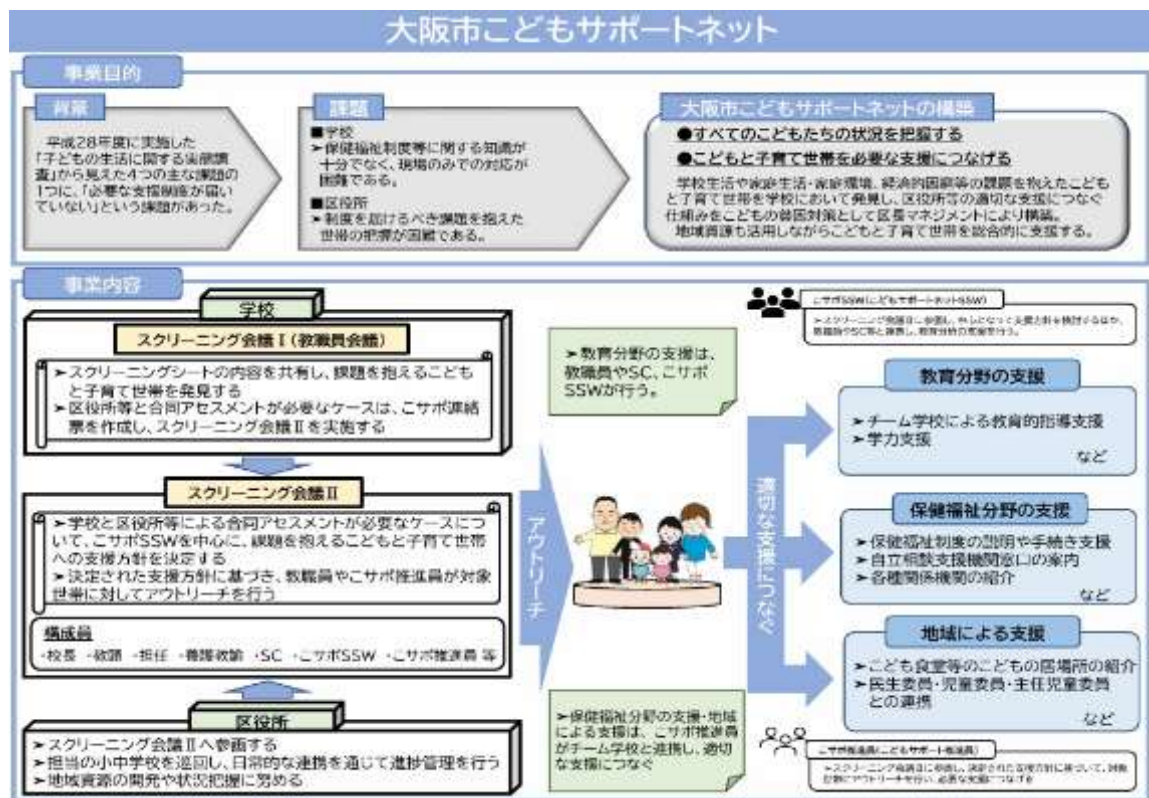
- ✓街頭犯罪抑止に向けた啓発について、様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

【1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち】

■こどもサポートネット

学校における気づきを区役所や地域につなぎ、社会全体で支える仕組み

支援の必要な子どもや世帯を学校において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みを構築し、区長のマネジメントにより、社会全体で子どもと子育て世帯を各種施策により総合的に支援する取組です。



■情報発信

住之江区の子育て情報をいろいろまとめた「すみのえこそだて博覧会」を区ホームページに掲載。「こそだて」「にんしん」「けんこう」「おでかけ」「そうだん」「あずける」に分類し、子育て層により見ていただけるよう工夫をしています。また、広報紙でも、子育てに関する有益かつタイムリーな情報を掲載しています。



【1-2 子どもがいきいきと学び、成長していくまち】

■民間団体や企業との連携による学習支援・学習指導を実施しています

●区内小学5・6年生と中学生を対象とした「基礎学力アップ事業」は事業者と区が協定を締結し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用して受講できる塾を区内小学校6か所、中学校4か所で運営しています。

●区内小学生を対象とした「放課後学習チャレンジ教室事業」は、事業者と区や学校が協力し、児童の状況に合せた少人数制の学習支援を行っています。



■キャリア教育

●「キャリア教育」とは、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育です。

●住之江区では、子どもたちがこれからの社会を生き抜くために必要なチャレンジ精神、創造性、探究心等を育むための体験を得る機会を創出していきたいと考えています。



【2-1 支え合い安心して暮らせるまち】

■職員の「気づき」「感度の向上」に向けた取組

区民の相談に対する確かな支援につなげるよう、区職員に対し区民の相談に対する「気づき」「感度の向上」を図り、区役所内や関係機関との連携を含めて、必要な支援につなげられるよう研修等を実施します。



■見守りあったかネットサポーター養成講座

気になる地域住民の生活に異変を感じたら、関係機関に連絡する「ゆるやかな見守り活動」から、定期的な安否確認が行えるよう各地域において、普段からの見守り活動の担い手となる「見守りあったかネットサポーター」を養成する講座を開催しています。「組織的な見守り活動」が行える地域の体制を構築することを目標とし、取り組んでいます。

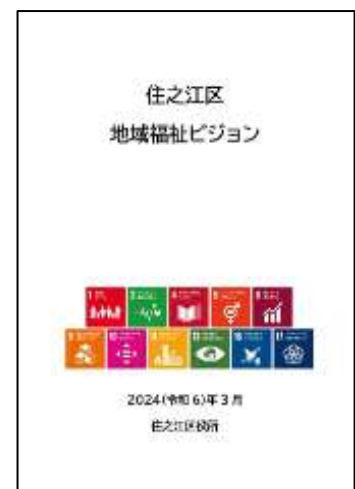


■地域福祉ビジョン

だれもが自分らしく安心して生活していくためには、地域福祉の推進が必要不可欠です。

区内の状況や特性に応じた取組を進めるため、「住之江区地域福祉ビジョン」を策定しており、区全体及び区内14地域の地域福祉に関する課題や取組等について記載し、区内における地域福祉の推進を図っています。

現行の計画期間は令和6年度～令和8年度の3か年であり、今年度が最終年度にあたるため、次期「住之江区地域福祉ビジョン」の策定に向け、作業を進めています。



住之江区地域福祉ビジョン



【2-2 活力と魅力のあふれるまち】

■企業・NPO・学校・地域交流会

次世代の担い手確保等の地域の課題解決に向け、まちづくりセンターと連携しながら、地域と企業・NPO・学校等の異なる活動者のつながりづくりとして、企業・NPO・学校・地域交流会を開催。令和7年度は2回開催(第1回:9月19日 第2回:2月13日)し、地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動が活発となりました。



第2回企業・NPO・学校・地域交流会では、これまでに企業等と地域が連携・協働した事例を発表していただき、貴重な情報の共有の場となりました。

今後はさらに多くの地域で連携・協働ができるよう、充実した交流会にしていきたいと思います。

■企業からの地域活動に対する食品等の提供

マルイ食品株式会社及びアイン食品株式会社とパートナーシップ協定を結び、フードロス対策として廃棄が予定されている食品を地域活動協議会が行う地域活動に対して提供いただく取組を開始。地域と企業がWINWINの関係を築けるとともに、地域の自律的運営にも役立っています。



ふれあい喫茶にて提供



地域防災訓練の炊出しにて提供

【3-1 災害に強いまち】

■防災意識の向上に向けた啓発

災害時に適切な行動がとれるよう、また非常備蓄品などの備えの重要性などについて、広報さざんかや区HP、区Facebook・区XといったSNSも活用しながら、区民の皆様の防災意識の向上に向け発信しています。加えて、地域の掲示板等へポスターやチラシを掲示するなど、直接区民の皆様の目に触れていただけるよう啓発を行っています。



広報さざんか令和7年9月号



啓発チラシ



住之江区HP

■減災のための環境整備

津波などの水害から一時的または緊急に避難するための施設として、津波避難ビルの拡充に努めています。また、地域貢献を有する企業・事業所・NPO・ボランティア団体等に災害対策に必要な協力を行っていただく防災パートナーの充実に努めています。

令和7年度実績(R8.3月末現在):津波避難ビル 49件、防災パートナー 25件



津波避難ビル

新栄運輸株式会社(令和7年11月協定締結)



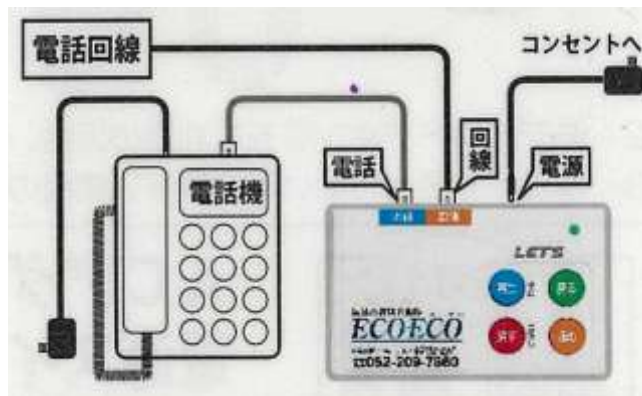
防災パートナー

花谷建設株式会社(令和7年11月登録)

【3-2 防犯意識の高いまち】

■特殊詐欺被害防止のため、「自動通話録音機」を無償貸与

特殊詐欺の犯行手口として最初に用いられる手段は、自宅の固定電話に電話をかけることがほとんどとなっています。通話録音を活用することで、犯人からの電話接触を極力なくすることができることから「自動通話録音機」が特殊詐欺被害防止に有効です。
令和4～7年度貸与件数 住之江区443台 大阪市11,240台(令和8年3月末時点)



■防犯啓発

商店街等での、街頭犯罪(特殊詐欺やひったくり等)に関する注意喚起や、ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施など、まちなかで効果的な啓発を実施しています。



特殊詐欺被害防止キャンペーン



ひったくり防止カバー取付キャンペーン

■青色防犯パトロールカー

安まちアプリで通知のあった情報を基に、巡回強化ポイントを設定しパトロールを実施しています。



安まちアプリ
チラシ



青色防犯パトロールカー